

◇日時:2024年9月15日(日) 10時~15時

◇場所 : 弓浜コミュニティ広場(鳥取県米子市)

◇指導者:(敬称略)

【中国女子部】田中よしこ、竹下聖、米村真由美

【鳥取県女子部】石倉彰二

◇鳥取トレセンのテーマ:【審判目線でサッカーを見てみよう!】

# 『元気に楽しく!』 『審判博士になろう!』



- ・10時~ 会議室で競技規則クイズ
- ・11時15分~ 女性審判員の試合をみよう!
- ・12時30分~ フレンドリーマッチを使って  
主審・副審を体験



## 中国地域審判トレセン女子部

### 【会議室で審判クイズ】

競技規則クイズを20問ほど作り、試合に活かせるような競技規則を楽しく学べるように机に選択カードを置き、各自・仲間で挑戦してもらいました。

県リーグや、フレンドリーマッチを行う選手たちが試合前・試合後にそれぞれ時間がある時、足を運んで参加してくれました。参加者の皆さんは、楽しく知らなかったこと、今後活かせるようなことを学びました。





**【女性審判員の試合を見てみよう！】**

女性審判員が主審をすることがなかなかない鳥取県！

竹下聖さんをお願いして、鳥取県の男性審判員と組んで審判を行い、選手・観客に見てもらいました。



**【フレンドリーマッチで審判実践】**

今回は、鳥取城北高校の選手の有志が主審・副審を体験しました。





## 【トレセンに参加しての感想】

### 鳥取県代表 石倉彰二さん

今回は中国女子審判委員会より 3 名の講師を派遣してもらい、鳥取県女子審判員の発掘・呼びかけをしてもらい、充実した講習会になりました。

鳥取県の課題の 1 つでもある、女性審判員の普及に女性ならではのアプローチの仕方・説明・指導等とても勉強になりました。

また、チームの協力もあり多くの方に体験をってもらう事が出来ました。これを機会に、一人でも多くの方が審判に興味を持ってもらえたら幸いです。

この経験を活かして、普及活動を続けて行きたいと思います。

### 女子部会代表 竹下聖さん

今年度から始まった中国5県での審判女子トレセンを、9月15日(日)第1回目として鳥取県で開催することができました。本トレセン発案者の女子部長 米村さんをはじめ、強化普及の田中さん、育成普及で鳥取県女子担当の石倉さんと私で事業を行った。

「審判活動に興味を持ってもらう仲間を増やす」という目標のもと、審判ブースでは競技規則の○×クイズ、ピッチ上ではトレマッチを使った審判実技指導を行った。

当初の声掛けではなかなか参加者が集まらなかったのですが、急遽試合のある会場へ私たちが出向いて行くかたちとなりました。

競技規則の○×クイズは、米村さん力作で参加した選手やコーチたちも興味を持って参加していました。また回答する順番や一人でやらないといけない等の制限もなく、仲間とともにわいわい言いながら行っていたのも楽しそうに見えました。

真ん中のテーブルでは、フィールドマット上でオフサイドの説明もあり、こんな場面ではどうですか？と質問する選手がいてお互いに理解を深めるいい時間になったのではないかと思います。

時間も10分～15分程度で終わる、選手があきない程度の量だったと思います。

ピッチで行った実技指導ですが、参加してくれた鳥取城北の選手たちはよかったと思いますが、できれば全選手に少しでも旗を持つ機会があればいいと感じました。

人数が多い時は、前後で2名ずつ交代しながら行う等、工夫も必要だと思いました。

私が主審をさせて頂いたところは、正直効果があったかわかりません。

一緒に副審をして頂いたコーチの方々は打合せもしましたので何か得るものがあれば嬉しいです。

いずれにせよ、地元の石倉さんにはチームとの連絡や会場の準備など、たくさんサポート頂きました。本当にありがとうございました。

新しい審判仲間が増えることを願って、次回のトレセン、また頑張りましょう！

